



水の文化祭りの

磁力



- 神崎宣武「生活行事のすべてが祭り」
- 家の祭り〈アエノコト〉
- 森田 悌「田の神祭りに見る日本人の神意識」
- 地域の祭り〈霜月祭り〉
- 鎌倉直衛「地縁が息づく神様王国」
- 都市の祭り〈天神祭〉
- 尾寄彰廣「浪花商人の元気で牽引」
- 合田博子「社会があるから文化がある」
- 水の文化学習実践取材「守り伝えるための〈お弓〉の仕組み」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「水の信仰・祀り・祭り」
- 阿部友子 シリーズ里川「古賀市ふるさと見分け」



ミツカン水の文化センター

- 表紙上：天神祭の本宮。ご神霊が移られた御鳳輦を中心に、催太鼓や地車、獅子舞など各講社がお供して天神橋北詰の乗船場まで3kmを行く陸渡御。その渡御列発進直前の境内。
- 表紙下：盛夏のさなか、祭りは暑さを熱さに変えてしまう。天神祭の獅子舞。
- 裏表紙上：釜の湯をいただいて、無病息災を祈る遠山郷霜月祭りの観光客たち。
- 裏表紙下：左 奥能登アエノコト、時国家のお供え。塗りのお膳は能登ならではの風格だ。
- 右 吉浜八幡社での巫女舞練習を見守るお母さんたち。1年生で巫女に選ばれたら、中途ではやめない覚悟が必要。責任は、本人より母親に重く感じられるのではない。

